

東京大学 生産技術研究所 正会員 柳本利彦

交通機関を計画として考へる場合第一物のみに終始する事は物理実験と同様に考へる事であり人爲性あるいはより大きな社会動向についても能動的にあるいは受動的に有機的相関性を持ってゐる事はさうに述べるべきではない。施設と車所改良と運賃サービスを与える事により利用者やこれを選択する事によりあるいはそれによつて日常生活の規定されるという対象ではない却て人にその考慮すべき課題の重負をなしているという基本性質を成している。これは人の心の問題でありシステム側の乗客サービスの革新と云へるが存続が現実化し新たな新種交通機関の探索も永遠の課題ではあるがこれも現実化しており半永久社会装置として是認されてきた交通機関が仮に社会より、ムの高幅変動に由るとしても新設存続を述べるだけでなく大きく交通機関の改組システムとして対応せざるを得ず今回のこの課題と新たに模索が迫られてゐる航空輸送計画についてその現状をレポートします。

並列交通の設定について

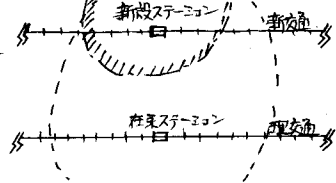
ある地域において一路線のみにて需要が処理できればそれだけの事であるが、需張量のための新線と設置した場合に需張量だけを処理できるというのは早計であり、利用者^①と交通機関との相互作用がさらに複合化されるとい
う見解をもつべきである。それでは出てきた予測量に新たに対応すればよいといえる事もないであろうが、よ
り計画性と現象に対する適確な把握も必要とする。利用者動向は利用者独自のものであり、個別の交通機関も各々
の特性を有している。しかしよりSUITABLEに利用者との間のAが不経済性^②、内部経済性の相違等を及ぼす時、その予測量の検討
とサービス体制の検討が新しい利用者の価値観と並んで意味を持つ。相互乗り入れ、ステッド・パス^③、駅の新設廃止による交通機関間、同一不経済性
の除去等作法が考えられる。望むべきは相互に利用者と利用者の利便性^④がある、並列問題と現象的に把握し、利用者動向は必ず目的地で目的地
と経済性^⑤（白電での距離）によって作用している。つまり並列な交通機関が設置されると同時に、現交通に対して利用者はフリーの選択意識を持つ
といえる。より多くの諸条件の下にあって利用者は選択し、利用交通機関と定率に変化する。ある点に位置する新設廃止という点で作業に力をつけて利用者は現状
にその計量作業を行なう。つまり並列交通についての見解は、相互拒斥^⑥というのではなく、互阻^⑦が主たる現象と予測量について考え、その対策としての作法は新線
相互の拒斥と現状との相違^⑧と、少しの補正である。並列問題において、選択度^⑨の相違と、運行行為の自由度により、発着と固定点、運行はダイヤに
よる場合として、その選択意識に、自動車交通の相違がより必要要素の本質的数値を生ずるといえる。

そして又交通機関の利用者に、とりわけ點線に四角に与える影響は地域計画の転換をなし、半に高速道路を通るための地価も低下したという事柄が十分でなく、より客観的・合理的な並列運送とさせる事なく、少なくとも正しい見解を窺ひたい。さらに東京目黒地区の如き道路一つに三本地下鉄と足す「過剰」運送爭取、現交通の機能capacityを活用しつゝ地域便益利用に着手する形での救済と模索してある。そして人の心に交通機関を利用する事の負担となる事のない、本年の台野送便達を供する方々の二つの重荷の軽減（油料より）正しく交通機関の利用率を高める現象といふ。仮に五反田に於てばそれは左記の事柄が述べらるるといふ。以上見解に終始したべからざるれば、神戸市における利用者代々の相互の利便性、機関の設立などとは政治的問題であり、政策による副産物では一筆である。地方代表者へは本稿の方向とそれに対する作法であり、容易に行政、政策に依存する事なく、最善の策へと従ふ、交通機関の運営に無理と生じさせない対策あり、単に駅に関する事柄のみでなく、より多様な諸手段について計畫・能作業となすのが要。

そしてこれら以上の見解とより正確に把握した諸君や警備するものとしての期待に実施すべき事を望むこととし

存続について

改めて科学史あるいは技術史・放送機の歴史をふりかえ、本書をめくると地元便益もこの事ながらもしこれを歴史的現象として抽象概念の域で考えるならば許さねるとすると驚くべき現象とはいえない。かつて運行そのものの可能性まで問われた船舶・航空・鉄道についてその変遷のめぐるしこはおおよそ放送機の性能改善に施設がそって放送計画体制が追隨していた。しかしこの話は興味深くとも従来システムとしての望むべき健全放送



$$T = k(T_1 + T_2)$$

$$V_1 = P f_1 \cdot f_2$$

⑦:新設ステーション浄用量

V_i の ZCON の利用量

五:新交通設置による利用量

P: 麗秋人口 九: 利用話本等

f_2 : 惩罚 weight k : 修正系数

